

2009年の天候

3月から4月にかけて一時的に強い寒気が南下して低温となる時がありましたが、7月にかけては気温が平年より高く経過しました。太平洋高気圧の張り出しが南に偏り、8月、9月と気温が低くなりました。その後、12月にかけて気温はほぼ平年並みとなりました。この結果、年平均気温は14.4と平年よりわずかに高くなりました。秋雨前線が停滞することがなかったため、9月は極端に降水量が少なくなりましたが、低気圧や台風の影響で4月、8月、10月、11月に降水量が多くなったため、年降水量は1548.0mmと平年より多くなりました。また、日照時間は4月と9月に多かったものの、7月から8月前半にかけて天気が悪かったため、年間の日照時間は1957.3時間とほぼ平年並みでした。

2009年の気象観測値(日立市役所)

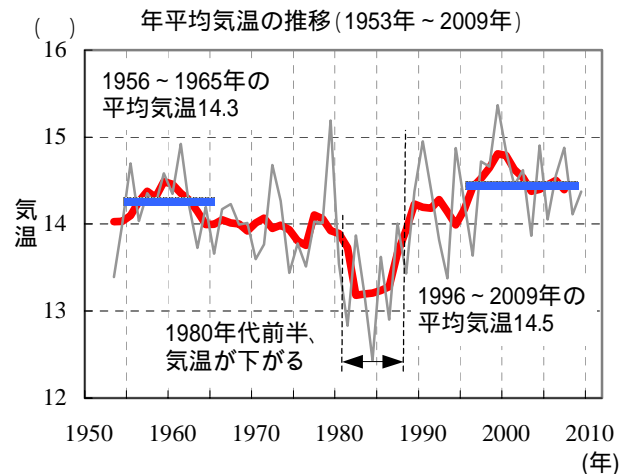
項目	2009年	平年値
平均気温()	14.4	14.0
降水量(mm)	1548.0	1439.4
日照時間(時間)	1957.3	1965.4

平年値(1971~2000年の30年間の平均)

- ・1月後半から5月にかけて、平年より気温が高くなる。
- ・3月、4月は大陸から寒気の南下があり、気温の変動が大きくなる。
- ・6月後半から7月中旬にかけて太平洋高気圧からの暖気が入り真夏の陽気。
- ・8月は台風第9号に伴う暖湿気の流入により降水量が多くなる(月降水量217.0mm)。
- ・8月から9月にかけて低温。8月の真夏日の日数は1日、9月は0日。
- ・9月は記録的な少雨(月降水量11.0mm)。
- ・10月は2個の台風に刺激された前線の影響により降水量が多くなる(月降水量260.0mm)。
- ・11月も気圧の谷の影響で中旬を中心に天気がぐずつき、降水量が多くなる。(月降水量165.0mm)
- ・12月も中旬の初めまでは降水量が多かった。その後、冬型の気圧配置となり乾燥した晴天が続く。

気温の年変化

日立市役所では、1952年9月から気温の観測を行っています。これまでの年平均気温の変化を見ると、1950年代後半から1970年代にかけて気温は低下する傾向にありました。その後、1980年代前半には一時的に0.8ほど気温が下がりました。1980年代後半から気温は上昇し、1999年に高極となった後やや下がり、2001年から現在まではほぼ横ばいの状態で推移しています。1996年から2009年までの平均気温は14.5で、1956年から1965年までの平均気温14.3より0.2高くなっていますが、気温が年々上昇する傾向は見られません。



【2009年の主な気象記録】

- 最高気温: 34.1、7月13日
(南西風によるフェーン現象)
- 最低気温: -2.8、1月16日(寒気と放射冷却)
- 最大日降水量: 134.0mm、8月10日
(台風からの暖湿流)
- 最大1時間降水量: 46.5mm、10月8日
(台風前面を北上した前線)
- 最大風速: 12.8m/s、10月26日(南岸低気圧)
- 最大瞬間風速: 25.7m/s、10月26日()

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話22-5520 IP電話050-5528-5066へどうぞ。